

屋上緑化 点検及び維持管理

グリーンビズーG
(セダム編)

株式会社 トークン

〒923-0908 石川県小松市浮城町 76-1

TEL 0761-21-8818 FAX 0761-21-8828

I P 050-3539-2428

URL <http://www.token-web.com/>

【1】セダムとは

セダムはベンケイソウ科のセダム属の植物に対する総称であり、世界で約 500 以上の種があるといわれる。

また多肉植物であり、乾燥に強いので、ドイツでは屋根緑化材料として広く利用されている。

(主な特徴)

- ・ 摘み取って地面に置くだけで、やがて根付き、生長を始める。
- ・ 多年草が多く、多肉で大きな液胞を有し、乾燥に強い。
- ・ 一般に春季と秋季は成長期にあたり、夏季と冬季は休眠～半休眠期にあたり、赤褐色に変化することがある。
- ・ 独自のメカニズム

CAM植物（ベンケイソウ型有機酸代謝植物）

乾燥に耐えるための特殊なシステムを内蔵。

土壤が乾燥すると、日中は気孔を閉じて水分の流出を防ぎ、夜になると気孔を開けて光合成に必要なCO₂を取り込み、有機酸に合成して蓄え、昼間に分解して細胞内に放出して光合成の材料として利用。

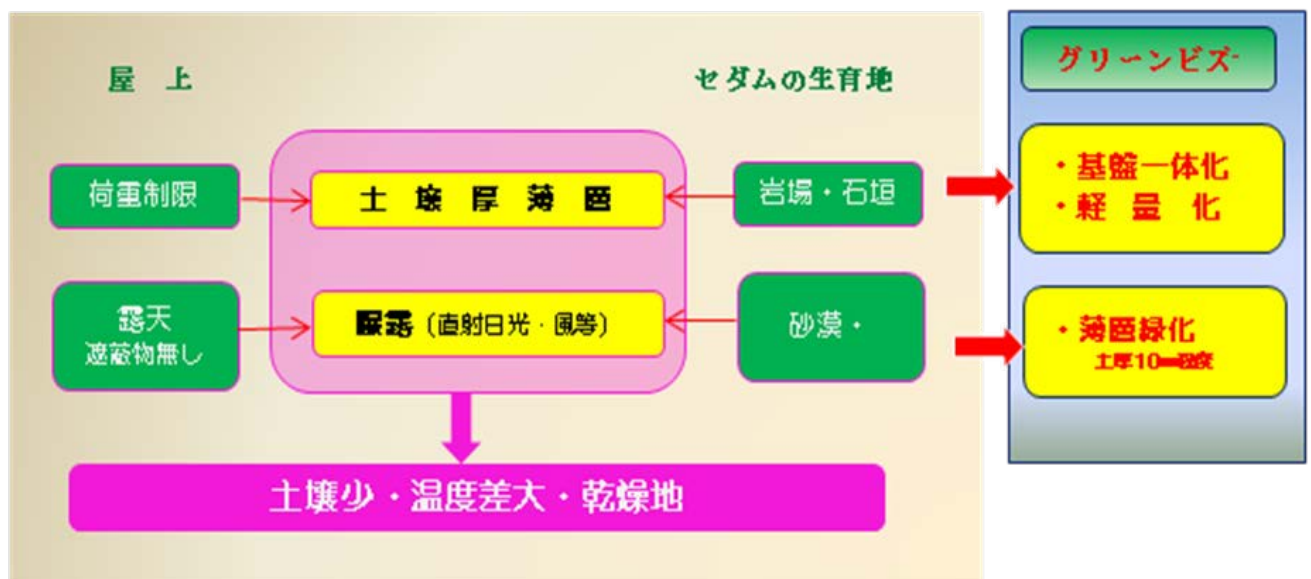
気温が25℃以上の乾燥した日中には気孔を閉じる。

(屋上緑化として)

セダムの生育地と屋上の環境の類似性が、屋上緑化に有効に働く。

一般の植物が生息しにくい限られた土や乾燥した環境でも、セダムは独自のメカニズムにより環境に対応する。

「屋上」と「セダムの生育地」の環境類似性



【2】セダム緑化

セダムはグラウンドカバープランツ（地表を覆うために植栽する植物）であり、季節により成長と衰退を繰り返し、被覆密度、茎葉の形状・色彩が変化する。

（芝生とセダム）

セダムは、芝生のようにカーペット状に被覆率を上げていく緑化とは全く異なる性質をもつ緑化であることの認識が必要。

- ・芝生は緑のカーペットとして広がるが、セダムは匍匐性の地被的性状をもち、コロニーを形成する。
- ・セダムには開花期があり、芝生のような頻繁な刈り込みは不要で、耐乾性に富む。
- ・基盤整備、養生、維持管理について
芝生は植栽後の給水や施肥により被覆率を上げる「生育助長型」指向。
セダムに、芝生と同様の給水・施肥を行うことはマイナスの環境を提供することになる。
いわば「生育抑制型」指向といえる。

（セダムの変化）

春： 季節的な成長期 5～6月頃の開花

（留意点）花の数が過剰になると、花が咲いた後に脆弱化することがある。

夏： 衰退期 高温・乾燥による被覆率の低下

（留意点）高温多湿時には蒸れで、部分的に枯渇することがあり、赤褐色に変化することがある。

秋： 成長期 傷みの修復

（留意点）施肥により、夏の衰退を修復する必要がある。

冬： 衰退期 冬枯れと越冬芽

（留意点）茎葉がしおれて、全体のボリュームが小さくなり赤褐色に変化する半面、春の新芽が用意される。

【3】セダムの管理

健全なセダムの植生状態を維持するには定期的なメンテナンスが必要。
また、標準仕様と鑑賞仕様では、異なる手入となる。

◆ 概要

① 手入れ

(標準仕様の手入れ)

- ・点検回数は最低1～3回/年、または季節の変わり目（主に雑草取り目土）、施肥は1回/年を目途。
3月中旬～4月初旬の芽切り（開花抑制）は春先の点検にもよるが必ず行う事。

(鑑賞仕様の手入れ)

- ・点検回数は最低4回/年以上、施肥は2回/年とする。
3月中旬～4月初旬の芽切り（開花抑制）は春先の点検にもよるが必ず行う事。

② 耐久性

- ・セダム個体の寿命は約3年と目されるものの、世代交代を繰り返すため、定期的なメンテナンスを行うことにより、植生群（コロニー）の中で増殖していく。
（種子からの発芽、茎からの出芽、本体基部からの出芽発根等）

③ 基準メンテナンス

- （点検）植栽の安定的な維持のため、定期的点検が必要（除草等実施）。
培土の土層厚は10mm程度を維持する（基盤露出箇所があった場合土を補充する）。
- （灌水）基本的には水やりは不要であるが、但し、4週間以上降雨がない場合は灌水が必要となり、水やり対応する。
セダムは夜に気孔を開いてCO₂を吸収するため、灌水は日没時が妥当。
日中の水やりは過剰な水分を与えることになり不可。（日中に与えた水分は水温が高く、植物にとっては良くない。また、蒸れの原因となる為、厳禁である。）
- （施肥）施肥のタイミングは花が咲いた後、植生が弱体化している頃が目安。
施肥量は、遅行性肥料を年間 約150g/m²程度散布。
植生の状態確認（芽切り後の点検時に確認）の上適宜に対応する。
- （開花抑制）※セダムは栄養状態が良いと花が咲き過ぎ、植物体が枯死する。
時期的には桜の咲く頃に芽を切って調整し、花が咲かないようにする。
 - ・開花の許容は、出芽の1/3程度を目安とし、植生の状態にもよるが3月中旬～4月初旬に芽切りをする。

【標準仕様のメンテナンス】

◎…必須 ○…選択性必須 △…必要に応じて実施

作業・内容 / 時期(月)		春			夏			秋			冬		備考
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	
点検	植栽域	◎			△			△					・強風、暴雨、台風後
	植栽域周辺	◎			△			△					
維持管理	灌水				×								・猛暑時の日中は厳禁
	開花抑制	◎											・芽吹き前に切除
	除草	△			△			△					
	施肥	◎						○					・肥料種類により年1回

◆ メンテナンス費用（メンテナンス請負時）

600～900円/㎡（100㎡以上）

※設置箇所や諸条件により変動。（詳細につきましては打合せによる）

※遠隔地は運賃別途。

【観賞仕様のメンテナンス】

◎…必須 ○…選択性必須 △…必要に応じて実施

作業・内容 / 時期(月)		春			夏			秋			冬		備考
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	
点検	植栽域	◎			◎			◎					・強風、暴雨、台風後
	植栽域周辺	◎			◎			◎					
維持管理	灌水				×								・猛暑時の日中は厳禁
	開花抑制	◎											・芽吹き前に切除
	除草	◎			○			◎					
	施肥	◎						◎					・肥料種類により年1回

◆ メンテナンス費用（メンテナンス請負時）

1,000～1,200円/㎡（100㎡以上）

※設置箇所や諸条件により変動。（詳細につきましては打合せによる）

※遠隔地は運賃別途。